

相浦機械、世界最大級の電動ジブクレーン出荷 洋上石炭積替船用

相浦機械は3日、中国金陵重工向けにグラブ荷役専用クレーンとしては世界最大級の純電動駆動の45トンクレーン2基を、このたび製作・納入したと発表した。

このクレーンは、シンガポール船主向けとして、中国金陵重工で2隻製作の石炭積替専用バージ船の2隻目に搭載される。

インドネシアのカリマンタン島沖では、こうした石炭積替船が多数稼働しているが、同バージの積替荷役能力は1日4万トン以上で最大級となる。

この能力を発揮するために、クレーンは4ロープクレーンを採用することでグラブハンドリング専用とし、30^mの石炭を一度に掴め、通常汎用クレーンに比較し、巻き上げ速度を4倍、旋回速度を2倍とし、その制御と熱帯地方の過酷な環境下の24時間連続運転を考慮し、完全電動式として設計されている。

ジブ長さも32mと汎用クレーンの26mに対し



て25%長い。

設計寿命も汎用クレーンの年間稼働時間に比較し、8年分相当と耐久性にも配慮されている。そのため1基当たりの重量は120トンで、汎用クレーンのおよそ3倍ある。

同グラブクレーンは、世界でもインバータ式電動クレーン技術を有する相浦機械のみが提供できるオンリーワン技術で実現されたもの。このプロジェクトでも、相浦機械の4ロープ電動クレーンの多数の納入実績が評価され、採用に至った。